

令和7年1月12日(日)
大崎タイムス掲載

労災ゼロ 2000日達成

ナレッジパーク 中災防から記録証

プラスチック製品製造業、アスカカンパニー(本社・兵庫県加東市)の工場「ナレッジパーク」(加美町字雁原、社員数19人)がこのほど、労働災害ゼロ2000日間を達成し、中央労働災害防止協会の「中小企業無災害記録証制度」に基づく無災害記録証が授与された。

同制度は労災ゼロを続ける社員数100人未満の中小企業から申請を受け、第一種(努

力賞)から第五種(金賞)まで5段階で表彰する。申請に必要な日数は、社員数と業種によつて細かく分けられている。

労災ゼロを達成し、2018年11月13日に設立し、24年9月11日で「第一種(進歩賞)」の申請条件となる労災ゼロ2000日を達成した。無災害は現在も継続している。

無災害記録証の伝達授与式が10日、大崎市の宮城労働基準協会古

川支部で開かれた。出席したナレッジパークの佐々木崇取締役Tナレッジ生産本部長に、古川労働基準監督署の相澤隆之署長が無災害記録証を、同支部の木田秀隆支部長が表彰楯をそれぞれ手渡した。

佐々木取締役は「表彰を受けたことで社員の意識がさらに高まる。今後も整理、整頓、清掃の3Sを徹底し、金賞(6750日)を目指したい」と話していた。



表彰を受けたナレッジパークの佐々木取締役(右から2人目)